

2015年6月

NPO法人 学習塾全国連合協議会 東日本ブロック

NPO 塾全協

# 塾全協東通信



題字：伶齋（白川亮 進ゼミ柏）

## 5月度理事会議事録

[敬称略]

議長 沼田、記録 中山

日時：平成27年5月13日（水） 午前10時30分～午後12時30分

場所：池袋ルノアール 第1会議室

出席：沼田（理事長）、内藤（副理事長・研修局長）、稲葉（副理事長・進学対策局長） 中村（全国事務局長・広報局長）、小林（斎藤事業局長の代理）、山本（財務局長）、星野（千葉地区担当） 菅原（東京地区担当）、望月（埼玉地区担当）、星野（理事） 中山（事務局長）以上11名の出席

\*詳しくは会員向けに発送した「東通信をご覧下さい。

### 【理事長挨拶】

GWは皆さん、個々に有意義に過ごされ大いに英気を養ったのではないかと思う。今月は大きな行事である全国総会・東日本ブロック総会などがあるのでよろしくお願ひしたい。本日の議題としては5月の総会、中高入試を考える会、情報交換会に関して、また先日行われたブリティッシュヒルズの第4回英語合宿、各局、各支部からの報告、連絡事項が主な議題である。

### 【連絡事項】

①西日本ブロック総会 5/24 沼田理事長・中村全国事務局長が出席

### 【ブリティッシュヒルズ】

(1) 5月3日～5日 \*P.3の「レポート」をご覧下さい。

(2) 次回の企画

8月11日・12日 1泊2日

生徒向けの他、保護者も参加できる企画も検討している。20名以上の参加者を募りたい。

### 【東日本ブロック総会】

5/31（日） 中野サンプラザ 7F 研修室10

12:30 役員集合：受付及び配布資料等の準備

13:00～13:30 東日本ブロック総会

### 【全国常任理事会・全国総会の進行予定確認】

13:30～14:00 全国常任理事会

14:00～14:30 全国総会

【中高入試を考える会】15:00～16:50 司会進行（稲葉副理事長）

### 【私学と私塾の新年度情報交換会】

17:30～19:30 会場 中野サンプラザ 13F

ウェルカム試写会としてケビン氏作成の英語教育に関するビデオを流す。

【事務局】 5月 31日の東日本ブロック総会の資料について。

地区報告は 活動報告・収支決算・予算案の 3点セットとする。

【東京地区】 6月上旬「夏期講習会の上手な集客法を考える」というテーマで研修会を企画する。

【千葉地区】 この地域で新しい校長に変わった学校が数校あるので 6月に新校長と懇親会を計画している。その関係で経営セミナーは秋以降に順延の予定。

【埼玉地区】 長いあいだ埼玉地区で活動してきた内沼先生が退会された。慰労会を 5/10 におこない今までの労をねぎらった。

新しい方も入会されるので 6月に懇親会をおこないたい。

5/19 に進学相談会の実行委員会をおこなう。

次回理事会は 平成 27 年 6 月 10 日（水）午前 10 時 30 分～午後 12 時 30 分

場所： ルノアール池袋パルコ横店 第 1 会議室

---

# NPO塾全協 東日本ブロック 第4回 英語合宿レポート

日時：2015年5月3日（日）～5日（火）

場所：ブリティッシュヒルズ（福島県岩瀬郡天栄村）

参加者：生徒9名（中学生4名、高校生5名）+引率教師2名

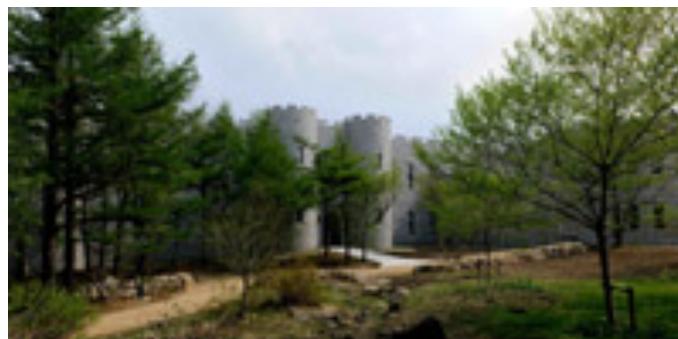
文と写真：中村基和（NPO塾全協全国事務局長・東日本ブロック広報局長）

\*顔の分かれる写真は本人の承諾を得ています。



《1日目》前回同様新白河駅 12 時半に集合。今回は以前からブリティッシュヒルズに興味を持たれていた Shirai Private School（大阪）の白井陽子先生が何と大阪から中学生を 3 名引き連れて参加して下さいました。この合宿の参加者は初回から女子の方が多かったのですが、今回は何と全員女子！

ブリティッシュヒルズからの送迎バスは 12 時 40 分でしたが、高校生たちは 1 時間前に到着して新白河をプラついていたようです。待っていた送迎バスに 45 分位乗って到着。いつものとおり荷物を Luggage Space に置いてから “May I check in, please?” でチェックインと諸注意&オリエンテーション。（写真右上）これはレッスンにもなっています。このときの担当は、去年の夏の合宿のとき大人気だった Randy 先生。ユーモアに富んだはなしに高校生達は笑いの連続。しかし中学生たちは「……」。これは仕方ないことでしょうね。いつものとおり、スタッフ（日本人）の方から講師やスタッフに英語で話しかけたらサインが貰え、10 溜まつたら賞品が貰えると説明がありました。オリエンテーションが終わってから宿舎に向かいました。今回の宿舎は各部屋にハンモックが備わっている寄宿舎風の Barracks。中世の城をも連想させられます。今回で 3 連続参加の O さんは、「前からバラックに泊まりたいと思っていたの！」と大喜びでした。（写真下）



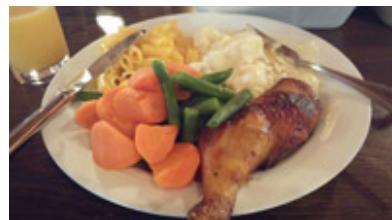
暫く休  
憩した後  
16 時から  
17 時半まで Gym に  
全員集ま  
り “Dance”

という名の最初のレッスン。講師は南アフリカ出身の Zain 先生。Dance といってもダンスだけでなくスポーツも組み合わさっていました。生徒達は運動着に着替えていましたが、引率の白井先生までジャージ姿でやる気満々。引率の先生がレッスンに参加した例がなかったので “Though she is a teacher, she would like to join them. Is it OK?” と尋ねたところ、“Sure.” と快諾して貰えました。最初は 5 人ずつ分かれて輪になって立ち、その真ん中の床の上に

スポンジボールを置きます。先生が色々な単語を言い、“Dance！”と発声すると、かがんでボールを取るというカルタ的なものです。（写真左下）取った生徒は、“My name is ~. I am from~.”と自己紹介し輪から退きます。次も同じ事をしますが、取った生徒は今度は“My name is ~. I am from~. I like ~.”と一つ文が増えます。その次の回は更に一つ文が増えます。いわばペナルティーです。大阪から来た中学生が“I am from Osaka.”と言ったら、先生は“Oh, Osaka!”と驚きの表情を見せました。その次は2種類のダンス。運動量はかなりあります。一番上手だったのは白井先生！ある高校生が「先生～、一番キレイがあったよ！」あとで音楽について traditional なものかと尋ねたところ、スコットランドのものとアメリカのものだとのことでした。（写真右下）そして最後は小脇に挟んだタオルを奪い合う騎馬戦的な運動。私を除いて皆元気でした。



17:30 にレッスンが終了し、自由時間。18:00 から円形の食堂 Dinning Hall で初めての食事をとりました。従業員の方が英語で“We have ~”と用意された食事の紹介をし、部分的にセルフサービスで2名が食事を乗せた大きなプレートを貰いに行き、自分達で盛りつけました。後で生徒達から聞いたことですが、食事は美味しいけれど量が多くて食べ残してしまうことに罪悪感を感じるとのことでした。（写真下 左&中央）



食事が終わってから Free Time。表は冬期ほどではありませんでしたがライトアップされ、霧が立ちこめていました。白井先生は“霧のロンドン！”と写真を撮りまくっていました。（写真右上）中学生達は室内プールで遊びました。プールの使用はこの英語合宿では初めてのことでした。20時に点呼をとり、23時に消灯。皆疲れきってすぐ寝たようでした。

**《2日目》** 7:30 に再び Dinning Hall で朝食（写真右）をとった後、9時から 10 時半まで中学生と高校生の 2 つのグループに分かれてレッスン。中学生は Zain 先生の指導による “Survival English” というレッスンでしたが、これは Is、Are、Do、Can、そして疑問詞で始まる英語を言わせるもので、この時期の中 1 は勿論、中 2 でも多少難しめのものでした。Why で始まる疑問文は誰もわかりませんでした。（普通、教科書では中 2 後半で習うもので



すから) 生徒達は最初はオドオドしていましたが、後半は手をあげて答える場面もありました。(写真左下) “Soccer”と答えて、“It's American. Football.”と直されていたのが印象的でした。

高校生のグループは Nick 先生の指導による “Pronunciation Skills” という発音訓練。Nick 先生は個性的なボソボソッとした話し方で生徒達はよく笑っていました。悪い意味でなく変人という感じです。発音練習はまずは l と r の違い。一人一人に Liverpool と発音させ、ボードに口の絵を描いて、l の発音をするときの下の位置、形を生徒に書かせました。Nick 先生は “Do you know Liverpool?” と尋ねて “Beatles”、“Football” と言いましたが、反応はイマイチでした。そのあと早口言葉の練習もありました。



レッスンのあと 1 時間の自由時間があったので、まずは施設の外の Nature trail (自然遊歩道) を熊よけの鈴を鳴らしながら歩いて展望台に着きました。昨年の夏のときは雲だらけの天空の城状態で景色が見えまく、貸し切り状態。GW は空いていると聞いていましたが、そのとおりだったようです。せんでしたが、今回は幸い天気に恵まれ「絶景」を堪能することが出来ました。山々に囲まれた青い羽鳥湖、一見リアス式海岸の風景のようにも見えました。ブリティッシュヒルズはスコットランドに近い気候の場所を選んで建てられたので、いつのこと白河ネス湖なんて別名をつけるのはいかがでしょうか? (写真下)



12 時 10 分からブリティッシュヒルズの名物の一つであるハリーポッター風の大食堂 Refectly で昼食をとりました。 (写真右) ブリティッシュヒルズに来たらここでの食事は外せません。バイキング方式だったので生徒達は残さないでむと歓迎していました。どういうわけか今回は我々しかいな

14 時まではフリータイムでその後中学生達は S 先生の指導で、Pop-up cards. いわば飛び出す絵本のようなものを作り工作教室です。 (次頁写真左) 高校生たちは Zain 先生の指導で白井先生も交えて Chess. ほとんどの生徒が初めてだったですが、「チェスって面白いね」と熱くなっていました。 (次頁写真右)





レッスンの後は恒例の Manner House の見学。TV ドラマの撮影にも出たという図書室、女王様のベッドや風呂場、熊の毛皮が上に乗せてある王様のベッド。王様のベッドは丈が短く、身長 140~150 cm 位の人向き。何故こんなに短いのかわかりますか？と尋ねたところ、中 1 の生徒が、「敵に襲われたときに備えて...」と答えたのには感心。そうなのです。昔の王様は刺客が襲って来たときに備えて、すぐ起き上がるよう完全に仰向けになって寝ながったのです。

〔写真左下〕また高級な机&椅子のセットがあり、そこで一人ずつ記念写真を撮りました。ニュートンやシェイクスピアになった気分が味わえます。（写真右下）



昨年の 8 月の合宿の時はこのあとから沼田理事長と私でイギリスの歴史・文化の講義をしました。今回も一応資料を用意していたのですが、急遽取り止めにしました。というのは、高校生達が講師やスタッフに積極的に話しかけようとし始めたからです。夕食前に高校生達が白井先生を誘ってテニスコートに行きました。プールに続いて塾全協の英語合宿でテニスコートを借りるのも、やはりこれが始めてのことでした。みんなどれ位出来るのかなと見学に行きましたが、空振りとホームランの連続(>‿<\_)（写真右）



18 時に Dinning Hall で夕食をとった後 Barracks の 1 階ラウンジで中学生、高校生合同で ESS (English Speaking Society)。講師は Cameron 先生。過去の 2 回の合宿では生徒が個別に先生と会話をするという形式でしたが、今回はクイズ形式のレッスンでキャンディーの賞品つきでした。3 つのヒント、例えば “Osaka, baseball, yellow” という問題。大阪の中学生たちが暫く考えた後 “Hanshin Tigers” 。すぐ答えが出るかと思ったらそうでもありませんでした。やはり野球の人気は衰えていますね。Cameron 先生は声も体つきも大きく、話し方が面白く、非常に friendly な方で生徒達には大受け。終始笑いが絶えませんでした。サンタさんなんてあだ名もついてしまいました。（本当にそれっぽいですが）中学生と高校生のグループに分けて問題を出しあわせたりもしました。最後に先生が 3 つのヒントを出して中学生と高校生に 1 人ずつ答えさせ、先に正解を出した方にキャンディーをあげるゲームをしました。“What

is the capital of Hokkaido?" と言う問題になって高校生達は“？？？” 中には "Tomakomai" なんて答える生徒もいました。やっと中学生が "Sapporo" と答えてキャンディーを貰いました。後で高校生達に capital の意味も知らないのかと尋ねたら、「みんな知っていますよ。中学生にキャンディーをあげたかったの。」 後で Cameron 先生にこのことを話したら、"Good Guys"。（写真左下）ESS のあと Cameron 先生は Tuck Shop というキャンディの売店で店員の役もしました。（写真右下）みんな集まって今回一番の大はしゃぎ。一緒にいた外国人女性も囲みました。中学生達の緊張もやっとほぐれたのが表情でわかりました。



自由時間の時、ある高校生の携帯に中学生から電話がかかってきました。「きっと怖くて帰れないんだよ。」そのとおりでした。「今どこにいるの？これから行くから。」と宿舎まで連れて行ってくれました。盛りだくさんな一日でした。

**《3日目》**朝食後チェックアウトしてから最後のレッスンは Cooking Shortbread。講師はニュージーランド出身の Natu 先生。（次頁写真左下）とても快活な方でこれまた大人気！ "Call me Natchan" と言うのでみんな「ナッチャーン！」と呼んでいました。今まで小学生がショートブレッド、中高生はスコーンなのですが、3回連続参加の生徒がいる関係もあって今回はショートブレッド作りになったようでした。作り方はスコーンとは大分異なっていました。材料を練って鏡餅のようなものを作るのが、一番早くできたのは白井先生。流石です。ショートブレッドが焼き上がるときお茶を飲みながら試食しました。（写真右下）帰ってから3回連続参加の高校生はスコーンの方が美味しかったから今回もスコーン作りのほうがよかったと意外な感想でした。



レッスン終了後記念撮影をしてから送迎バスに乗って11時半頃新白河駅に到着。前回はこれで終了・解散でしたが、今回はそのあと付録がつきました。折角大阪から東京経由で来たのですから、少しでも東京見物をさせてあげたいと白井先生に相談したところ快諾を得ましたので、お台場に行くことにしました。原宿も考えましたが、人気の竹下通りは土日祝日はとんでもない混み方するので迷子が出る可能性大のため止めておきました。3時間ほどでしたが、フジテレビ見学、日本で二番目に怖いというお化け屋敷体験、そして未来都市的な遊歩道と海浜公園の散歩をしました。

(写真下)



大阪の中学生達は帰りの新幹線の中で疲れ果てて寝ていたのだろうと想像していましたが、その正反対で、後ろの席から苦情が出るほど騒いでいたようです。そしてまたキャメロンに会いたいと言っていたそうです。私は新宿に着くと地元の高校生と一緒にラーメン屋に直行しました。ブリティッシュヒルズに行くと醤油とラーメンが恋しくなるのは私だけではなさそうです。

私は今回でブリティッシュヒルズ英語の引率は3回目、視察会を含めると訪れるのは4回目でした。今回の特色は、何と言っても大阪から先生、生徒の参加者があったことでした。もしそれがなかったら人数の関係で取り止めになっていたかも知れません。白井先生には大感謝です。大阪の方に足を向けて寝られまへん。合宿日数に関しては、折角大阪からお金と時間をかけて参加するのですから、今回のように2泊3日以上でないと駄目なようです。アンケートでも大阪の中学生3人のうち2人が3泊4日が良いと答えていました。また、どの合宿でも他塾の生徒と知り合いになれたのが良かったという感想がありましたが、今回のように関東と関西の生徒達の接触が出来たことも素晴らしいことでした。

### NPO 塾全協東日本ブロック 今後の主な予定(2015年)

8月11日・12日 第5回ブリティッシュヒルズ英語合宿

編集 NPO塾全協東日本ブロック 事務局長 中山和行

〒350-0322埼玉県比企郡鳩山町今宿229番地

TEL 049-296-1111 FAX 049-296-1111 E-mail gyqbt650@ybb.ne.jp

NPO塾全協東日本ブロックHP <http://www.jzk-east.com>